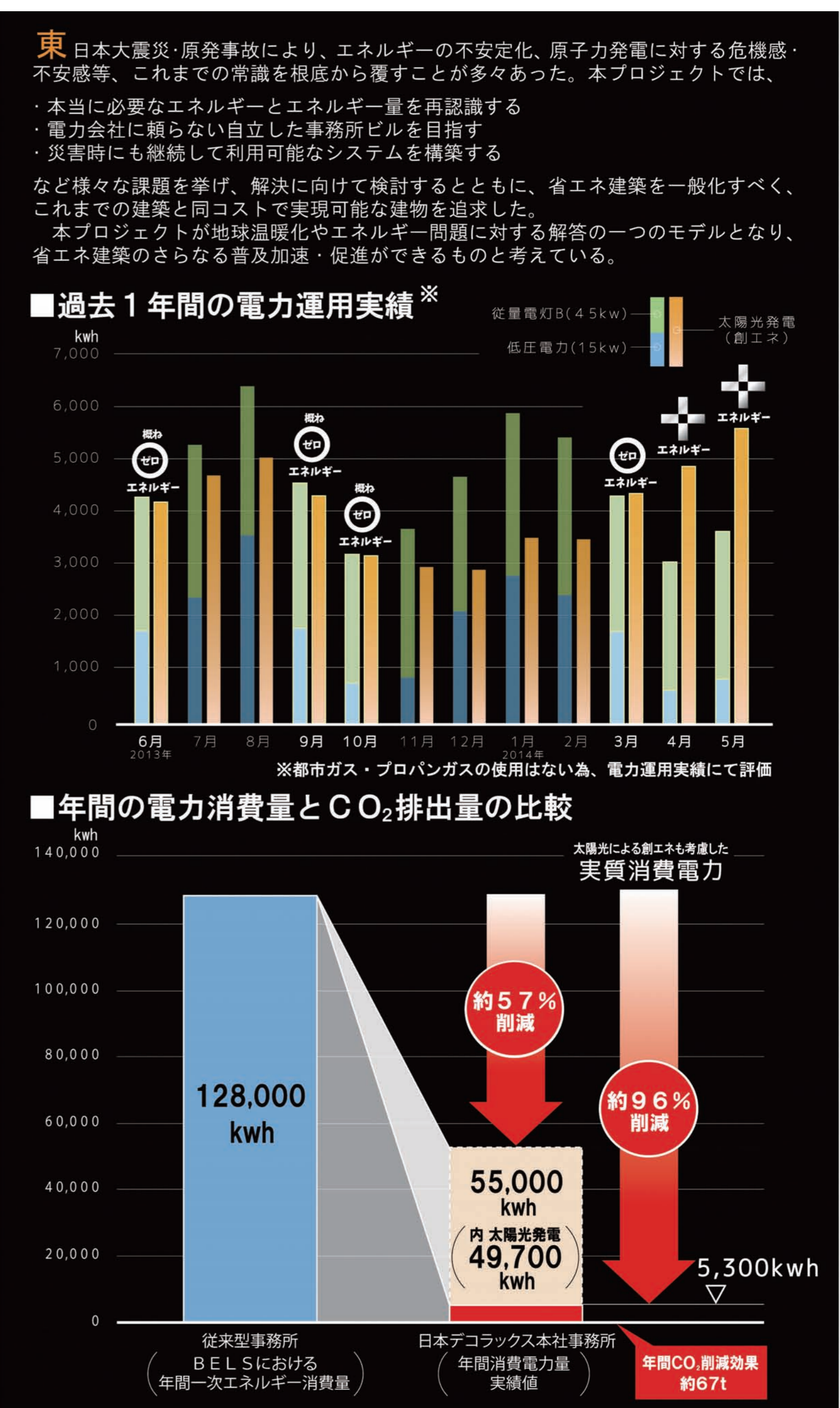


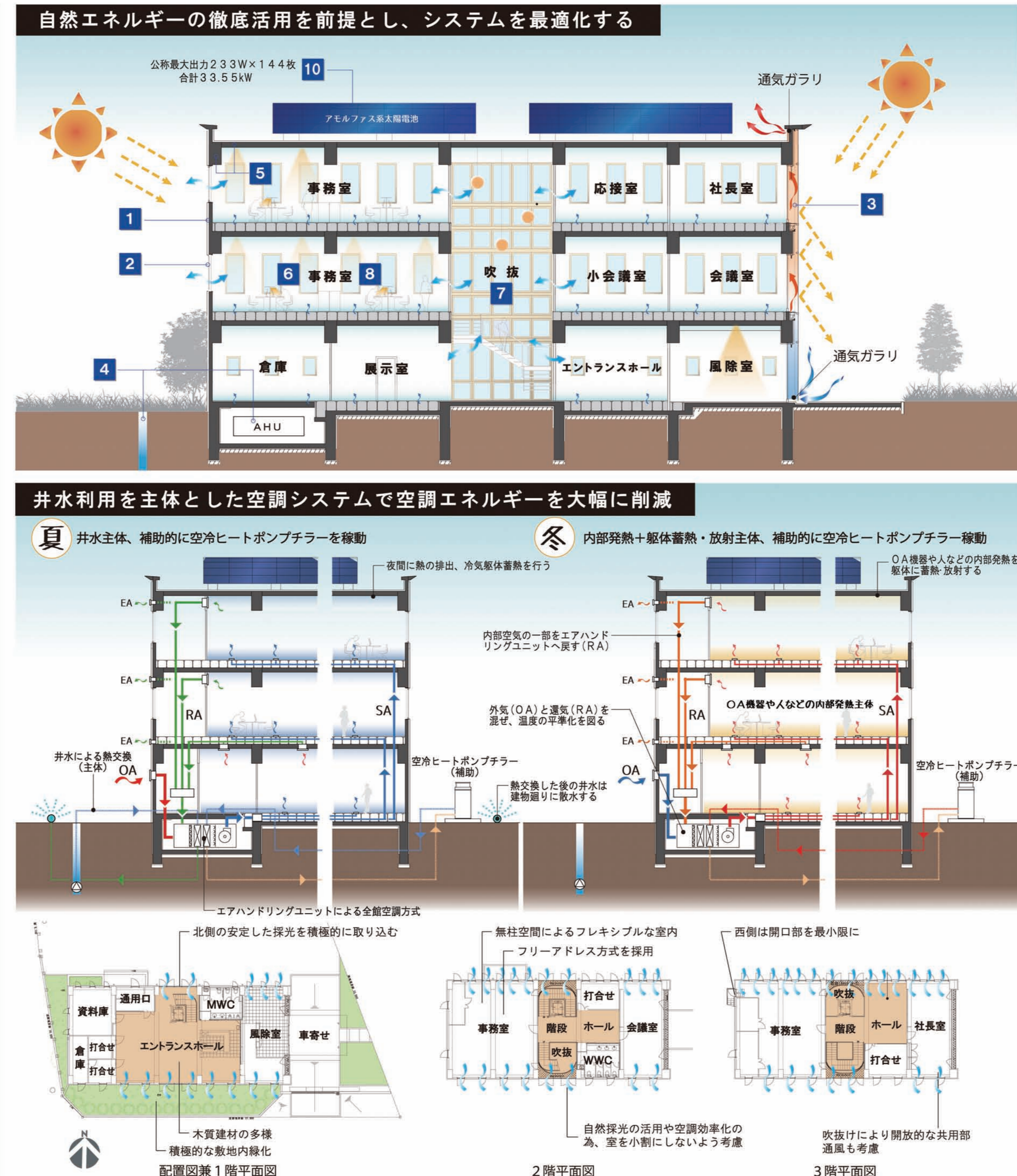
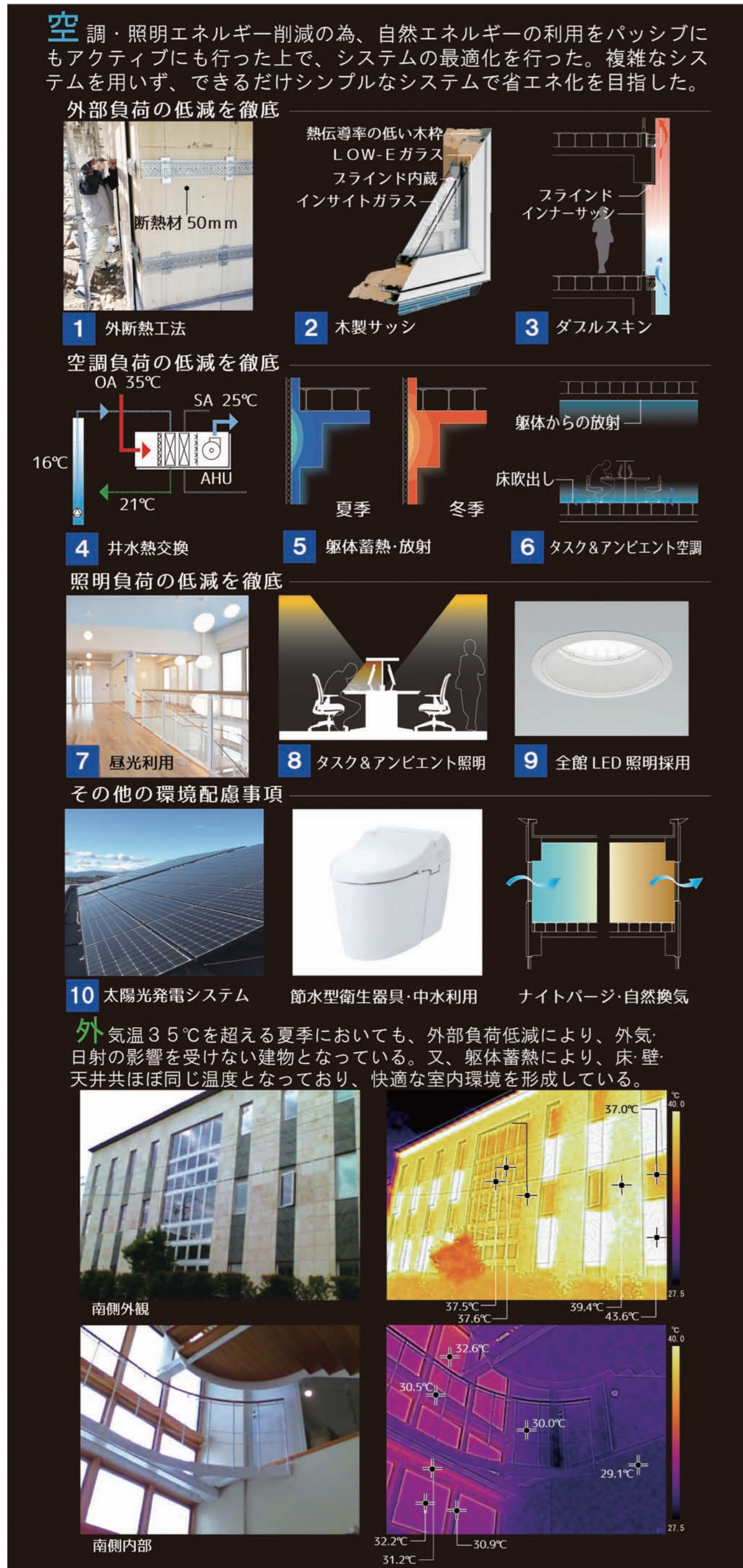
# 審査委員会 奨励賞

主催：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

## 日本デコラックス株式会社 本社事務所



建築物に関する基本的事項		評価結果
建築物の所在地	地域区分 6	<p>BELS Building Energy-efficiency Labeling System</p> <p>★★★★★</p> <p>建築物省エネルギー性能表示制度</p> <p>一次エネルギー消費量 531.8 MJ/(m<sup>2</sup>・年)</p> <p>BEI=0.42</p>
愛知県丹羽郡扶桑町大字柏森字中屋敷23-2の一部、25-6		
名称	日本デコラックス株式会社本社事務所ビル	
用途	事務所等	
階数	地上3階	
延べ面積	889.04㎡	
構造	鉄筋コンクリート造	
完成時期	平成25年4月24日	
評価結果	通常の計算法（標準入力法）	
BEIの値	0.42	
一次エネルギー消費量	581.98MJ/(m <sup>2</sup> ・年)	



BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）にて国内2例目の★★★★★を取得

経産省が提唱する「ZEBを実現するための総合設計モデル」にも概ね合致しており、大幅にエネルギーの削減が可能な構成といえる。本事務所ビルでは、総合設計モデルの一部の主要な項目の採用までとなっているが、年間としてゼロエネルギーに近い結果となった。

一般的な事務所ビルの建設コストと比較すると、建築工事は外断熱工事費用が内断熱の場合よりコスト増になるものの、内装の簡素化・空調設備の省力化・シンプル化により、建築費全体では概ね同一コスト、場合によってはコスト減となる。さらには、設備更新時においてもコスト減が可能となるため、ライフサイクルコスト・CO<sub>2</sub>とも削減が期待できる。

躯体工事 外装 内装 他 電気 衛生 一般的な事務所ビル

躯体工事 外装 内装 他 電気 衛生 本事務所ビル

- 1 内断熱工法から外断熱工法への転換 → コスト(増)
- 2 外断熱工法により内装仕上げ一部取り止め → コスト(減)
- 3 外断熱工法により空調設備の簡素化 → コスト(減)

先端技術を使わず、従来からある技術を駆使することでも高い省エネ性が得られている。また、今後の運用において、電気の見える化や前年度比較により、さらなる省エネ化、ゼロエネルギー化に取り組んでいる。環境問題、電力問題に対する解答のひとつとして、環境共生ビルのさらなる普及・促進に向け、日々取り組んでいく。

